

世の中で話題になっているニュース等について知り、考えるためのヒントを得られるような資料情報をご紹介します。

## アメリカの選挙

### 最近の新聞記事から

「米大統領選 出自や経歴 対照的 ハリス氏VSトランプ氏」

(読売新聞 2024年8月24日) 朝刊8面

「(アメリカ大統領選2024) トランプ氏、勢い増すハリス氏に対抗 来月、両氏の討論会」

(朝日新聞 2024年8月10日) 朝刊9面

2024年11月5日にアメリカ大統領選挙と連邦議会上・下院の改選が行われます。

アメリカの大統領選挙では、党の候補者を選ぶための予備選挙や大規模な党大会、本選挙で投票するための有権者登録など、日本の選挙制度とは異なる点があります。

アメリカでは選挙における人種差別禁止を目的とした投票権法(1965年)が成立しましたが、その一部条項を違憲とする Shelby 判決(2013年)や、マイノリティーなどを投票から遠ざけかねない州法が成立した事例もあります。共和・民主両党の支持層とイデオロギー的分極化による社会の分断も指摘されるなかアメリカの選挙を取り巻く状況は今もなお流動的です。

今回は、アメリカの選挙の仕組みや、近年の選挙をめぐる出来事を扱った資料をご紹介します。

### 【政治制度・選挙制度】

サイト名・記事名・書名	URL・出版情報等
アメリカ政治 有斐閣ストゥディア	岡山裕・前嶋和弘著 有斐閣 2023 中央: 31253/80 <span>図書</span>
主体(有権者、政党、利益団体など)、統治機構、選挙、メディア、政治インフラなど、政治を形づくるテーマを概観し、アメリカ政治の特徴や、日本との違いがわかる。	
Voting and elections	U. S. General Services Administration <span>Web 情報</span> <a href="https://www.usa.gov/voting-and-elections">https://www.usa.gov/voting-and-elections</a>
選挙に関するアメリカ政府一般調達局のウェブサイト(英語表記)。選挙関連の法律情報、投票方法の説明、過去の選挙結果などの情報を調べることができる。各州の選挙制度を調べる場合には、当サイト内の「State and local election offices」から各州などの選挙事務所のウェブサイトへのリンクが用意されている。	
世界の選挙制度	大林啓吾ほか編著 三省堂 2018 中央: 3148/59 <span>図書</span>
8カ国の選挙制度の概要を紹介している。アメリカ(p2-25)については、大統領選挙と連邦議会選挙の仕組みや、1975年の投票権法の改正(識字テスト禁止)までの投票権保障の歴史を概観できる。	

## 【選挙の動向】

<b>ブッシュ対ゴア</b> 2000年アメリカ大統領選挙と最高裁判所	松井茂記著 日本評論社 2001 東部：31489/8	図書
投票支援法（2002年）の契機となった選挙。大接戦の末、アメリカ史上はじめて連邦最高裁判所の判断が実質的に選挙結果を決定した大統領選挙の経過、裁判の争点や判決内容を整理している。		
<b>アメリカ大統領選</b> （岩波新書 新赤版 1850）	久保文明・金沢隆一著 岩波書店 2020 中央：31489/20	図書
大統領制の成立や意義、政党のイデオロギー的変遷の節目となった出来事や選挙を概説している。本書後半では2020年の大統領選挙のルポルタージュを中心に予備選挙、本選挙の経過を追う。		
<b>現代アメリカ選挙の変貌</b> アウトリーチ・政党・デモクラシー	渡辺将人著 名古屋大学出版会 2016 中央：31489/17	図書
単一の投票行動を示さないヒスパニック系・アジア系市民や、選挙を敬遠する市民からの集票は選挙結果を左右する。彼らアウトリーチの投票行動を促すためのマイクロターゲティングや、戸別訪問や双方向性ソーシャルメディアによるコミュニケーション空間の有効性の再発見など、変化する現代の選挙戦略を分析している。		
<b>アメリカ憲法と民主政</b> アメリカ憲法叢書3	大沢秀介・大林啓吾編著 成文堂 2021 中央：31489/21	図書
投票権法の合憲性が争われた裁判、党派間対立の一因でもある有権者ID法や人種的ゲリマンダリングなどの選挙に関する司法審査の展開を追うことによって、アメリカの選挙制度や社会が抱える課題を整理している。		

## 【二極化する社会と選挙】

<b>民主主義の死に方</b> 二極化する政治が招く独裁への道	スティーブン・レビツキー著 ダニエル・ジブラット著 新潮社 2018 東部：3117/49	図書
南北戦争から現代まで、選挙の民主化とアメリカ社会・政治が二極化していく過程を概観できる。その結果、これまで独裁者の出現を未然に防いできた規範意識や政党の機能が失われつつあり、他国の事例と同様にアメリカの民主主義も危機にあると警鐘を鳴らしている。		
<b>不正選挙</b> 電子投票とマネー合戦がアメリカを破壊する	マーク・クリスピン・ミラー編著 亜紀書房 2014 東部：31489/14	図書
投票支援法によって導入が進められた電子投票機による不正の可能性や、投票機企業と特定政党との密接なつながりが指摘されている。2000年以降に行われた選挙に関する調査レポート。		
<b>投票権をわれらに</b> 選挙制度をめぐるアメリカの新たな闘い	アリ・バーマン著 白水社 2020 中央：31489/19	図書
全ての市民の投票権を保障した投票権法（1965年）の成立後も投票する権利をめぐる攻防が続き、Shelby判決（2013年）に至ったことを、綿密な調査や、立法・司法・行政などの関係者や一般市民への取材をもとに明らかにしている。		